

中小企業向け脆弱性情報共有システム（MyJVN）の開発

株式会社 日立製作所

近年、世界的な IT 製品の脆弱性を悪用するサイバー犯罪の増加に伴い、PC やサーバの脆弱性対策が社会問題化してきている。現代のネットワークは、組織の規模を問わずインターネットを介して接続された巨大なネットワークであり、日本の情報インフラの安全・安心を実現するためには、セキュリティ専門家がいる大規模な組織に加え、IT 専門家の不足しがちな中小規模組織に対しても、脆弱性対策を推進していく必要がある。

本開発では、脆弱性関連情報の流通を促進し、中小規模組織が脆弱性対策情報をより容易かつ効率的に入手・利活用できるようにすることを目的とし、以下を実施した。

- (1) 国内の中小規模組織による脆弱性対策状況の把握や、海外の脆弱性情報の活用フレームワークに関する先進事例の調査を通じ、IPA が今後取り組むことが望ましい短期的施策及び長期的施策を検討
- (2) 脆弱性関連情報の流通・活用の支援として、IPA が運営する JVN iPedia データベースに蓄積された脆弱性対策情報を、ユーザが必要な情報だけフィルタリングして入手できるようにし、これを機械処理に適した XML 形式で提供することにより、加工・再利用を促進するシステムを開発（右図）

